

令和8年9月13日

令和8年度 都川水の里公園・稲作体験講座【第4回】

第4回「稲刈り」は、当初9月6日に予定していましたが、雨天のため1週間延期し、9月13日に実施しました。13組33人（大人16人、子ども17人）の受講者が参加しました。当日は曇りで気温26℃でしたが、湿度が高くやや蒸し暑い中での作業となりました。休憩と水分補給を取りながら、怪我や熱中症に十分注意して作業を進めました。

はじめに、運営事務局から本日のプログラム、稲の生育状況、稲刈りの方法について説明がありました。その後、自噴井太郎脇の保全水田3枚（約500㎡）に移動し、稲刈りとおだ架けを行いました。

今年は8月中旬以降の秋雨前線の影響で田んぼがぬかるみ、足を取られやすい状態でした。また、雨を含んだ稲束が重く、倒れた稲の刈取りにも苦労するなど、例年より時間と労力のかかる稲刈りとなりました。

手刈りに先行して稲刈り機（バインダー）で一部を刈り取り、おだを建てる場所を確保しました。その後、受講者の皆さんが鎌を使って稲を刈り、束ねた稲をおだに掛けていきました。ぬかるむ田んぼの中での作業でしたが、皆さんで協力しながら着実に作業を進めました。

稲刈りの途中には、カエルやカマキリを見つけて喜ぶ子どもたちの姿も見られました。稲作体験は、米づくりの作業だけでなく、田んぼに暮らす生きものにふれる機会にもなっています。

最後に、おだに掛けた稲穂の周囲へ防鳥テープを設置し、稲刈り作業を終えました。田んぼのぬかるみなど厳しい条件の中でしたが、怪我や熱中症などの事故もなく、無事に終了することができました。

おだに掛けた稲は自然乾燥させ、次回は9月27日（日）に「脱穀」を行う予定です。



オリエンテーション



豪雨で冠水した田の様子(8/14)



バインダーによる刈取り作業



バインダーによる刈取り作業



手刈り作業



手刈り作業



倒れた稲の刈取りに苦勞する



倒れた稲の刈取りに苦勞する



ぬかるむ田での稲刈り



ぬかるむ田での稲刈り



おだを建てる



おだを建てる



周囲に防鳥テープを設置



周囲に防鳥テープを設置



稲刈り後の田んぼ（全景）



稲刈り後の田んぼ（1班）



稲刈り後の田んぼ（2班）



稲刈り後の田んぼ（3班）